

関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科 第2回シンポジウム

首都圏地震のワーストシナリオを、どう描くか ～ 私たちが東日本大震災から学ぶべきこと～

日時：10月28日(金) 13時30分～17時30分 場所：日本消防会館 ニッショーホール

関西大学では、10月28日(金)に日本消防会館ニッショーホールにおいて、社会安全学部・大学院社会安全研究科 第2回東京シンポジウム「首都圏地震のワーストシナリオを、どう描くか ～私たちが東日本大震災から学ぶべきこと～」を開催します。

東日本大震災を経験し、首都圏の企業・行政はBCPを見直す必要に迫られており、その前提として、首都圏地震の「ワーストシナリオ」をどのように描くべきか、というテーマに多くの企業・行政の関心が集まっています。本シンポジウムでは、各分野の専門家を招き、東日本大震災を検証した上で、首都圏地震の「ワーストシナリオ」を多角的に議論します。(要申込)

記

- 1 日時 10月28日(金) 13時30分～17時30分(要申込・参加費千円、定員700名)
- 2 場所 日本消防会館ニッショーホール(東京都港区虎ノ門2丁目9番16号)
- 3 プログラム (司会：関西大学社会安全学部教授 亀井克之)
開会挨拶 関西大学副学長 黒田 勇
講演「東日本大震災復興構想会議の提言を踏まえて、大震災の教訓を見出す」
社会安全学部長 河田恵昭
講演「原子力問題と電力不足を検証する」
社会安全学部副学部長 小澤 守
講演「東日本大震災・阪神淡路大震災から首都直下地震の被害想定と対策を再考する」
明治大学政治経済学研究所・特任教授 中林一樹
講演「マクロ経済、雇用の視点からの首都圏地震を検討する」
社会安全学部准教授 永松伸吾
講演「首都圏の防災行政の視点から首都圏地震を検討する」
社会安全学部准教授 永田尚三
パネルディスカッション・質疑応答
コーディネーター 社会安全学部准教授 高野一彦
パネリスト 河田恵昭、小澤 守、中林一樹、永松伸吾、永田尚三
閉会挨拶 社会安全学部副学部長 土田昭司

以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 石田、小野、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-0201 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp